

第5学年 社会科学学習指導案

日時 平成17年9月2日(金)
場所 5年2組 教室
児童 5年2組 31名
授業者 佐藤 和佳子

1 単元(中単元)名 「工業生産を支える人々」 2 世界とつながる自動車

2 単元(中単元)の目標

- ・ 貿易による世界各国との結びつきについて調べ、その特色や問題をとらえることから貿易の進め方について考えをもつことができる。

3 単元(中単元)について

(1) 教材について

本中単元は、学習指導要領第5学年の内容、『(2)「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き』を受けたものである。

我が国は、工業生産がさかんである。原材料を加工し、その形や性質を変えて生活や産業に役立つ製品をつくり出している。工業製品では、機械工業で生産された物が一番多く、その中でも自動車は生産額や輸出額においても大きな割合を占め、我が国の重要な工業製品となっている。自動車をつくる際に必要となる原料の鉄鉱石のほとんどは外国から船で運ばれ輸入されている。また、国内で製品となった自動車の一部は、世界の様々な国や地域に輸出されている。このようなことから、本中単元では、貿易の現状や働きとともに、我が国の工業生産において運輸が重要な役割を果たしていることを具体的にとらえられるようにするのがねらいとなる。

(2) 児童について

7月に実施した意識調査から、社会科の学習を「好き」または「どちらかというが好き」と答えた子どもは74%であった。好きな理由としては「調べ学習が楽しい、働く人の喜びや工夫を知ることができる、地図帳で県名や県庁所在地を探ることが好き」などがあげられている。

問題解決的な学習に関しては、課題に対しての予想をたてたり、調べる方法を自分で選択したりする活動に意欲的に取り組む子が多く、調べ学習が好きである。反面、グラフや表などの資料の読み取りが苦手、十分に課題解決ができない子や、調べたことを整理してまとめる活動が不十分な子もいる。ねらいにあった資料提示をし、資料を読み解く方法を支援しながら問題解決を実現していく力を身につけさせていく必要がある。

学び合いについては、クラス替えがあった1学期当初は自分の考えや調べたことを発表し、練り上げていくことはたいへんためになると思っていながらも、発言する子が固定化している実態であった。そのため、グループでの話し合いの場面を多く設け、話すことに抵抗がなくなるよう取り組んできた。

本単元を学習するにあたって、子どもたちに事前調査をした。親が自動車工場勤務している児童は13%おり、仕事の内容や様子を聞いたことがあるという児童も数名いた。また、日本でつくられた自動車が外国に輸出されていることをテレビなどの情報から知っている児童は87%、日本の自動車工場が海外につくられていることを知っている児童は32%であった。国内で生産された

自動車は外国へ輸出されていることは知識としてある反面、近年めざましく発展している海外生産については認識が薄いということがわかる。

(3) 指導について

単元のつかむ過程では、「自動車をどのようにして輸出するのだろう」という問いに対して様々な予想を出し合い、調べたい知りたいという意欲を高めさせ、自動車を外国へ輸送する仕事についての調べ学習へとつなげていきたい。その際、日本から見たアメリカ合衆国の方位や、シアトルまでの距離を、地図や地球儀を活用して調べる活動も行う。地図と地球儀の特徴をおさえたうえで「日本の自動車の主な輸出先」の地図資料からとらえさせたい。

しらべる過程では、導入資料(グラフ)の提示の仕方を工夫し、「なぜ、海外生産が増えてきたのだろう」という疑問をもたせ、学習に対する意欲化を図りたい。その後、日本の自動車の海外生産の様子を調べ、貿易による世界各国との結びつきや協力について考えさせていく。その際、現地の人たちが仕事につけることのよさを考えることを通して、つりあいのとれた貿易や外国との協力について追究していきたい。終末には、海外工場での勤務を経験した方の話(録音)を聞かせ、海外に日本の自動車工場を建てるだけでなく、外国人を指導していくために様々な苦労や工夫があることをおさえさせたい。

日本の輸入品や輸出品の特色、貿易の相手先を調べる学習では、一人一人が自分の調べるテーマを決めて取り組んでいく。テーマにあったグラフや地図を活用し、読み取ったことを的確に表現できるように手だてをふんだ支援をしていきたい。また、わかったことを発表し合うことで互いに共有化を図りたい。

まとめる過程では、外国で生産されたものがどのようにして自分たちのもとに届くのかを教科書や資料集で調べることにより、貿易と自分たちのくらしとのかかわりについておさえたい。

ひろげる過程では、これまでの学習を想起させ、日本の貿易の特色や問題点についてふれ、これからの貿易の進め方について自分なりの意見をもって話し合う活動へとつなげていきたい。

4 中単元の評価規準

関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	知識・理解
・ 世界各国での日本の自動車工場の展開や、日本の貿易の特色・問題について関心をもち、意欲的に調べようとする。	・ 日本の貿易の問題に気づき、これからの貿易の進め方について考えることができる。	・ グラフや地図から、主な輸出入品や貿易相手先、貿易額の推移などを読み取り、その特色をまとめることができる。	・ 日本の貿易の特色や問題をとらえるとともに、自分たちのくらしを支えている貿易の大切さを理解することができる。

5 中単元の指導・評価計画（本時2 / 4時間）

過程	単位時間ごとの計画			上段 評価規準(太字)				支援計画 努力を要する子	
	小単元	時	目 標	学習内容・活動	下段 具体的評価規準(評価方法)				
					関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現		知識・理解
つかむ	・自動車は世界へ	1	・日本の自動車の輸出がどのように行われているかをつかむ。 ・地球儀を使って、輸出国の位置や日本からの距離・方位を調べることができる。	・船長さんの話をもとに、自動車を外国へ輸送する仕事について調べようとする。 ・日本から見たアメリカ合衆国の方位や、シアトルまでの距離を、地図や地球儀で調べようとする。 ・地図と地球儀の特徴をまとめ、外国の位置や、日本からの距離・方位を地球儀で調べようとする。	・自動車への輸送の仕方やその仕事について意欲的に調べようとする。 自動車への輸送の仕方やその仕事について既習学習をもとに意欲的に調べようとする。 自動車への輸送の仕方やその仕事について意欲的に調べようとする。(行動観察・ノート)		・地球儀を使い、世界各国の位置や、日本からの距離・方位を調べることができる。 地球儀を使い、世界各国の位置や、日本からの距離・方位を調べ、互いに比べることができる。 地球儀を使い、世界各国の位置や、日本からの距離・方位を調べることができる。(行動観察)		これまでの学習をふり返らせながら、大量に外国に輸送する方法を考えさせる。 地球儀の使い方について、操作活動をしながら楽しく調べさせる。
しらべる	・世界に広がる自動車工場	2(本時)	・日本の自動車の外国での輸出や生産の様子を調べ、貿易による世界各國の結びつきや協力について考えることができる。	・自動車の輸出台数や海外生産台数の変化をグラフから読み取る。 ・海外生産が増えてきた理由(よい点)を調べる。 ・調べたことを発表し合い、考えを深める。	・海外生産が増えてきた理由(よい点)を調べる。 海外生産が増えた具体的な理由を読み取り、外国との関わりにもふれながら、これからの自動車生産の進め方について考えることができる。 海外生産が増えた具体的な理由を読み取り、これからの自動車生産の進め方について考えることができる。(行動観察・ノート)				海外工場があるとどんなにいいことがあるか考えさせ、海外生産が増えてきた理由をとらえさせる。 板書のキーワードを参考にさせ、まよう促す。
	・グラフを比べてみると・・・	3	・グラフや地図をもとに、日本ではどんな物が、どのように輸入されたり、輸出されたりしているかをつかむことができる。	・既習の食料の輸出入や自動車の輸出入について振り返る。 ・日本全体の主な輸入品や輸出品と、その移り変わりについて調べる。 ・日本の輸入品や輸出品の特色や輸出品の特色をを考え、主な貿易相手先を確かめる。	・日本の輸入品や輸出品の特色について考える。 日本の輸入品や輸出品の特色に気づき、その問題点にも目を向けることができる。 日本の輸入品や輸出品の特色に気づくことができる。 (行動観察・ノート)	・自分の調べる視点にあった資料を選び、分かったことを表現する。 さらに別の視点について、資料を選び、調べて分かったことを書くことができる。 2つの視点について、資料を選び、調べたことを書くことができる。(ノート)			輸入か輸出かどちらなのか考えさせる。 自分の視点は何の資料から調べればよいか確認をし、その資料からわかることを一つ一つおさえさせる。

<p>まとめる・ひろげる</p>	<p>・これからの貿易は？</p>	<p>4</p>	<p>・日本の貿易の特色やとをこつとて、の進め方について考える。</p>	<p>・外国で生産さされたものが、自国に届くまでの流れを調べ、日本の貿易の特色や、問題点についてまとめる。</p> <p>・これからの貿易の進め方について、自分なりの意見をも話し合う。</p>		<p>・日本の貿易の問題点に気づき、これからの進め方について考えをもつ。</p> <p>-----</p> <p>これからの食料生産や自動車生産の学習も起こし考えることができる。</p> <p>つりあいのとれた貿易について自分の考えをもつことができる。</p> <p>(行動観察・ノート)</p>		<p>・自分たちのくらしを支える大切さを、その特色や問題点について理解できる。</p> <p>-----</p> <p>日本の貿易の特色や問題点を捉え、自分たちを支えている貿易をどのように進めていくことが大切かわかる。</p> <p>貿易の特色や問題点をまとめ、その特色や問題点について理解できる。</p> <p>(発表・ノート)</p>	<p>外国産の品物がどのよつに運ばれるのか基本的な流れをおさえさせる。</p> <p>貿易の大切さや問題点を具体的な品物を例にして考えさせる。</p>
------------------	-------------------	----------	--------------------------------------	--	--	--	--	---	---

6 本時の指導

(1) 目標

日本の自動車の外国での輸出や生産の様子を調べ、貿易による世界各国との結びつきや協力について考えることができる。

(2) 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点と評価	資料等
つかむ	<p>1 前時までの学習をふり返る。</p> <p>2 「海外生産」の意味について知る。</p> <p>3 課題を把握する。 (1) 「日本の自動車の輸出台数と海外生産台数の変化」のグラフから気づいたことを発表する。 ・輸出台数がだんだん減ってきている。 ・海外生産台数が増えてきた。</p> <p>(2) 課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 海外生産が増えてきているのはなぜだろう。 </div> <p>4 予想する。(海外生産のよい点) ・輸出に比べて時間がかからない。 ・車を買いたい人にすぐ届けられる。 ・より早く自動車をつくることができる。</p>	<p>・輸出と海外生産の関わりを考えるもとにするため、日本の自動車の輸出の様子をおさえる。</p> <p>・課題把握へ確実につなげていくために、外国に日本の自動車工場をつくり、生産していくことが「海外生産」であることをしっかりとおさえる。</p> <p>・グラフの著しい変化に着目させ、課題への方向づけを図る。</p> <p>・児童の疑問を生かして課題が設定されるように配慮する。</p> <p>・海外生産が増えるのは、何かよい点があるからだということをおさえる。 ・前時までの学習や生活経験を生かした予想を立てさせる。 ・発表された予想は、検証の際役立つようにキーワードを板書しておく。 ・予想を立てられなかった児童にも挙手により、自分の考えをもたせるようにする。</p>	<p>・海外の自動車工場の写真と分布図</p> <p>・「日本の自動車の輸出台数と海外生産台数の変化」グラフ</p>
しるべ	<p>5 海外生産が増えてきている理由について調べる。 [調べる視点] <u>海外生産のよい点</u></p>	<p>・要点をしばり、箇条書きにさせる。 ・早く終わった児童には、調べたことから考えられることを書かせる。</p>	<p>・教科書 (文章資料)</p>

ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地の人たちが仕事につける。 ・ その国の材料や部品をつかえる。 ・ 生産した車を他の国へ輸出することができ、その国が発展する。 ・ つり合いのとれた貿易 	<p>【評価】 海外生産が増えた理由を読み取れたか。(ノート, 発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取りが難しい児童には, 海外工場があるとどんないいことがあるか考えさせ, 海外生産が増えてきた理由をとらえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本車を壊すアメリカ人の写真
	<p>6 調べたことを発表し合い, 考えを深める。 現地の人たちが仕事につけると何がよいのか。</p> <p>7 課題についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地の人たちが仕事につけることよさを考えさせることにより, つりあいのとれた貿易と外国との協力の大切さを理解させる。 ・ 自分の言葉でノートにまとめさせる。 <p>【評価】 海外生産が増えた理由についてまとめているか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめられない児童には, 板書のキーワードを参考にして書くように支援する。 	
30分	<p>海外生産が増えてきているのは, 現地の人材が仕事についたり, その国の材料や原料を使えたりするなどよいことがあるからである。日本が外国と協力し合うことが大切である。</p>		
ひ ろ げ る 5 分	<p>8 学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽田さんの話を聞き, 本時の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外勤務を経験した方の話を聞かせ, 海外に日本の自動車工場を建てるだけでなく, 外国人を指導していくために様々な苦勞や工夫があることをおさえたうえで, 感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外工場での勤務を経験した羽田さんの話 (録音)

(3) 評価規準・具体的評価規準

評価規準	具体的評価規準		努力を要する子への支援の手だて
	十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	
【思考・判断】 海外生産が増えてきた理由を調べ, これからの自動車生産の進め方について考えている。	海外生産が増えてきた具体的な理由を読み取り外国との関わりにもふれながら, これからの自動車生産の進め方について考えることができる。	海外生産が増えてきた具体的な理由を読み取りこれからの自動車生産の進め方について考えることができる。	海外工場があるとどんないいことがあるか考えさせ, 海外生産が増えてきた理由をとらえさせる。 板書のキーワードを参考にさせ, まとめられるよう促す。

7 板書計画

海外工場写真	日本車工場働く アメリカ人の写真	海外生産が増えてきている理由	海外工場で指どうする日本人
課題	海外生産が増えてきているのはなぜだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の人たちが仕事につける。 ・その国の材料や部品をつかえる。 ・生産した車を他の国へ輸出することができ、その国が発展する。 ・つり合いのとれた貿易をするため 	<p>苦労</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じない ・外国の習慣のちがいが <p>工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・同じ教え方
予想	<よい点>	日本車を壊すアメリカ人の写真	羽田さんの写真
	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出は時間がかかる。 ・車を買いたい人にすぐ届けられる。 ・より早くつくれる。 	まとめ	海外生産が増えてきているのは、現地の人々が仕事につき、その国の材料や原料を使えたりするなどよいことがあるからである。日本が外国と協力し合うことが大切である。